

# 電響社が仕入先懇親会 坂田社長「新製品開発を推進」



幹部がそろいあいさつを行い、今後の取り組みなどが発表された

あいさつする坂田社長



高齢世帯といふことも確か」と玉木主事は説明する。今後は来場者が2世帯、3世帯で来場し「一日中一緒に楽しむことができる会場づくりを心がけ、販売実績に反映するようにしていきたい」と抱負を述べた。

【神戸】電響社が、神戸市の神戸西神オリエンタルホテルで仕入先懇親会を開催した。同社、大和無線電器、梶原産業のグループの取引先約100人の関係者が出席。グループ3社の幹部と懇親した。懇親会は毎年関西の各所で実施している。会の冒頭には3社の幹部がそろい踏みし、あいさつを行ったほか、グループトップが今後の取り組みを紹介した。

あいさつで電響社の坂田周平社長は「家電業界は需要が戻りつつあるが、Webの売上げが拡大しており、1兆円に近づいている。我々も地道に取り組みながら活動を推進しているが、皆さま方と共に努力していくので力添えを願いたい。また、新製品開発を推進しているが、得意とする販促にも力を入れながら活動する。今年度の実績は前年比を上回る見込み。来年度もWIN-WINの関係になれるよう、新しいことにチャレンジしたい」と述べた。

また、大和無線電器の公文雅人社長も「あるテナントはエレベータの待ち時間が長くクレームが出ていたが、エレベータの横に鏡を置くことで、利用者からのクレームがなくなつたと聞く。問題の捉え方を変えることによつて解決に向かう方法はある。これまでと違った観点で取り組むことが大切。我々も皆さまと共に知恵を出し合つて前に進みたい」とあいさつした。懇親会は会食とアト

ラクションを交えながら和やかに進んだ。